

令和元年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立大阪城音楽堂
施設所管課・担当	教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習担当
条例上の設置目的	市民の情操教育及びレクレーション運動の普及向上を図るため、音楽の演奏その他行事を行うことを目的とする。
業務の概要	大阪城音楽堂の管理運営 大阪城音楽堂の利用案内・受付、要望・苦情対応、音楽堂内施設管理、関係機関との連絡調整など、音楽堂の貸出に関する業務等を実施
成果指標	年間利用件数
数値目標	年間利用件数100件以上
指定管理者名	大阪城パークマネジメント共同事業体
指定期間	平成27年4月1日～令和17年3月31日
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	年間利用件数	
数値目標	100件	
年度実績	94件	
達成率	94.0%	

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	83,695	99,367	-15,672
利用件数	94	98	-4
稼働率	34.1%	41.4%	-7.3%

3 収支状況

(単位：円)

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	—	—	—	—
	計画	—	—		
利用料金収入	実績	32,196,492	32,288,586	3,804,492	音楽堂利用料に反映される入場料金が高額なイベントが多く開催されたことによる増
	計画	28,392,000	28,392,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
合計	実績	32,196,492	32,288,586	3,804,492	
	計画	28,392,000	28,392,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	17,336,194	14,474,298	4,988,194	計画時にスタッフ1名分の人件費が計上されていなかったことによる増
	計画	12,348,000	12,348,000		
物件費	実績	38,960,867	35,429,981	-1,373,133	管理委託費、備品等修繕にかかる経費の減
	計画	40,334,000	30,200,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
合計	実績	56,297,061	49,904,279	3,615,061	
	計画	52,682,000	42,548,000		

4 管理運営状況の評価（1 次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用件数100件以上	94.0%	B	新型コロナウイルスの影響で3月の利用件数の減少はあったが、概ね年度目標に近い数値であった。

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
サービス向上、防災、安全面を中心とした設備等の改修費の支出が多かったものの、大阪城パークマネジメント共同事業体としては、大阪市への納付金を収めることができた。	A	

（3）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	施設の管理運営状況について、本市が求める水準に従って維持管理できていた。平等利用の確保、職員の体制、危機管理・安全管理業務等についても本市が求める管理水準に達していた。 火災報知機、感知器、A E D を更新するなど危機管理・安全管理に向け適切に管理を行っている。
	事業計画の実施状況	B	事業計画に沿った事業実施が図られている。野外音楽堂という特性上、12月から3月までの利用に関しては、気温が低いためイベントを開催する条件は厳しく、例年利用件数が少ないが、今年度は2月に和太鼓のイベントの開催があった。またネット環境の改善を行い、時代に即したネット配信に関して利用者の利便性の向上を図っている。
	施設の有効利用	B	大阪城公園全体を指定管理として運営していることから、他施設とも連携し、施設の有効利用に取り組んでいる。 音止め時間の緩和に関連し、地域との連携を丁寧に進めるなど良好な関係を築いている。
社会的責任・市の施策との整合性		B	障がい者雇用率について、雇入れ計画どおり達成するなど、一定評価できる。

5 利用者ニーズ・満足度等

大阪城公園利用者への満足度調査結果（令和元年10月18日～20日実施） 非常に満足、まあまあ満足、普通、あまり満足ではない、不満足の5段階 大阪城音楽堂を含む公園全体の満足度（非常に満足、まあまあ満足）は88.9％で、事業計画時の目標数値85％を上回っており、安定的なサービスが提供できていると考えられる。

6 外部専門家意見

新型コロナウイルスの影響により、主催者及び利用者の減少に関わらず、概ね市の目標を達成している。 来場利用者数に加え、今後、ネット配信利用者を評価の対象とするかどうか検討されたい。 新型コロナウイルスによる新しい生活様式に対応する施設として、より一層利用することが求められるであろう。 野外の施設であるという特徴をアピールして、様々なコンサート等の誘致を図られたい。

令和元年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		B	新型コロナウイルスの影響で3月の利用件数の減少はあったが、概ね年度目標に近い数値であった。
市費の縮減		A	収支差額が赤字に施設であるが、更なる効果的な運営に向けて、危機管理・安全管理面の設備の更新を行うなど、サービス向上に努めていることは、評価できる。
管理運営の履行状況		B +	事業計画に沿った事業実施が図られており、ネット環境の改善を行い、時代に即したネット配信に関して利用者の利便性の向上を図っている。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
施設の管理運営			
事業計画の実施状況			
施設の有効利用			
社会的責任・市の施策との整合性			
総合評価		B	利用者促進に向けたサービスの向上に積極的に取り組み、概ね当初の成果目標にかかる計画どおり概ね件数を達成している。 また、ネット環境の改善を行い、時代に即したネット配信に関して利用者の利便性の向上を図るなど、効果的な運営を行っている点は評価できる。 今後、さらなる利用促進に向け、一層の努力を期待する。